

観光視点で見る式根島

美しい海、自然と融合している温泉、都心では出会うことができない野生の海亀。これらの景色が東京だという事実に始めは正直驚く人も多いだろう。高層ビルが立ち並ぶ風景が東京であるというイメージが広く認知されている中で、式根島は東京に新たな価値とイメージを与えられるであろう。そのため、この魅力を広く知ってもらい、このギャップを多くの人に体験してもらいたいと感じた。しかし、観光客を増やしていく中で、大きな課題が式根島には存在すると考える。

それは、飲食店や宿泊施設が不足しているということである。式根島は人口が減少しているため、観光業に回る人手が圧倒的に足りていないことが問題視されている。そのため、島の産物である温泉なども監視員などはおらず、完全無人となっており、観光初心者への配慮なども行き届いていないことが現状である。今後、インバウンド客なども多く訪れる地になると仮定した際、島の治安を守るためにもこの問題は早急に解決することが求められるであろう。

観光業の発展を目指すにあたり、同時に移住者を増やす取り組みが欠かせないと私は考える。人口減少が進む中で、地元の労働力を確保するためには外部からの移住を促すことが重要だ。移住者を増やすためには、まず住みやすい環境を整える必要がある。

例えば、空き家や空き地を活用して、移住者向けの住宅を提供することが考えられる。地元の伝統や文化を尊重しながら、新しい住民が住みやすい、快適な住環境を整備することが求められる。また、移住希望者に対して、住居の確保や引越し支援、地元での仕事の紹介、子育て支援など、移住後の生活をサポートする体制を整えることが重要だと考える。そして、移住者が定住するためには、島内での雇用機会も重要な要素となる。観光業の発展を支えるための人手不足を補うために、観光関連の仕事を提供するだけでなく、農業や漁業など地元の産業と連携した雇用を創出することも考えられる。また、リモートワークを活用して都市部からの移住者を引き寄せるために、島内にコワーキングスペースやシェアオフィスを設けることで、仕事と生活のバランスを取りながら移住者が定着しやすくなると考えた。

移住者の受け入れ態勢が整うことで、島内のコミュニティが活性化し、観光業と地域経済の発展に繋がると私は考える。また、新たに移住した住民が観光業の発展を支える人材となり、さらなる地域の魅力を引き出してくれるだろう。移住者が増えることで、式根島は観光だけでなく、住民による地域づくりが進み、持続的な発展へと繋がるのではないかと考える。